



2018年9月期 第3四半期
決算説明会資料



1 第3四半期の概要

2018年4月～2018年6月

代表取締役副社長 兼 グループCFO
中村 浩二

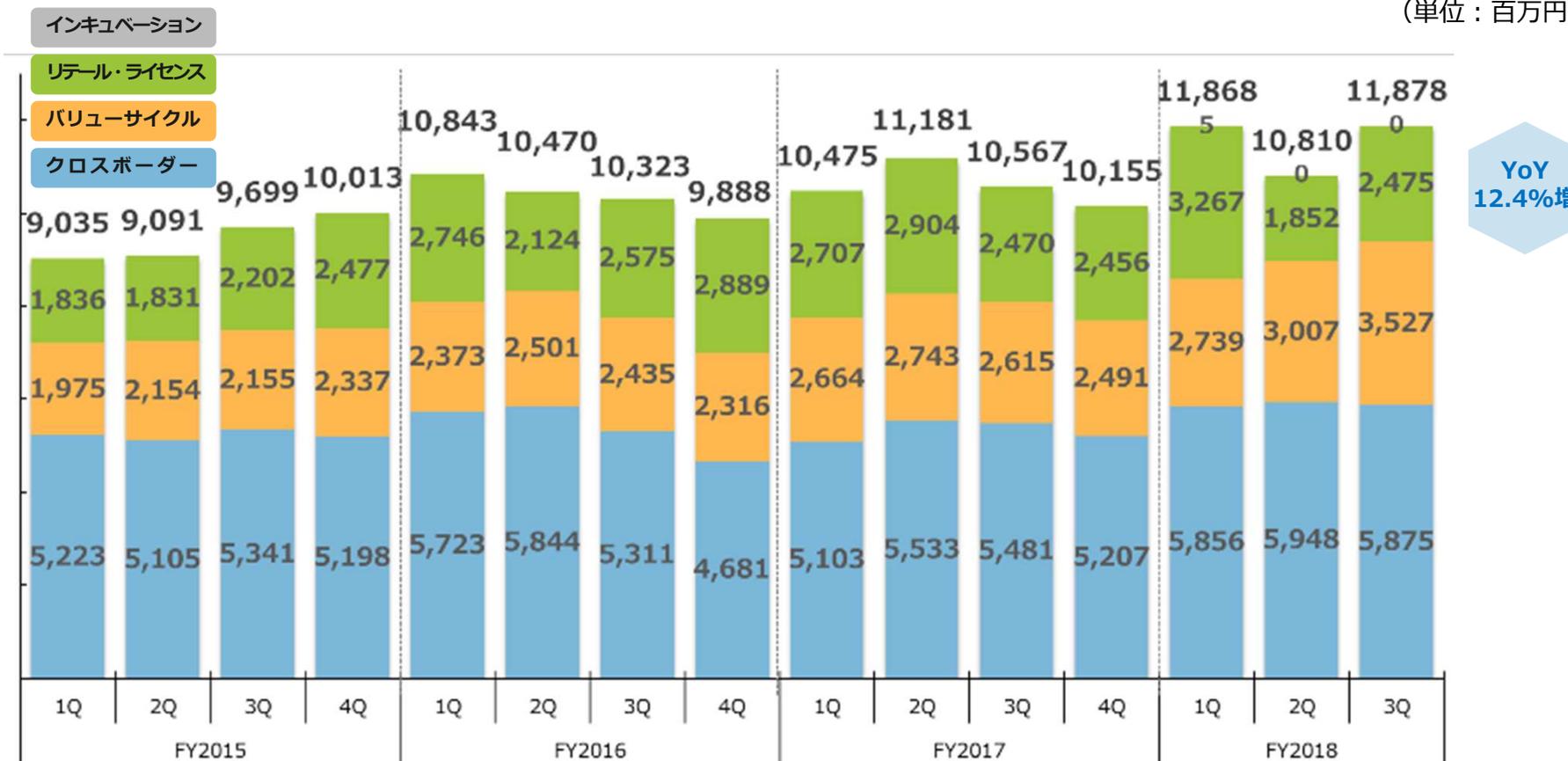
	実績	前年同期比
流通総額	118.7億円	+12.4%
売上高	61.8億円	+20.6%
営業利益	3.0億円	+195.9%
経常利益	3.4億円	+234.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1.2億円	+37.3%

- **3Qから酒類買取販売事業（株式会社帝国酒販）が実質連結対象**
- **営業投資有価証券の売却による売上2.9億円を計上**
7/11発表のdely株式の売却（売上高5.1億円、
営業利益4.6億円）は4Qに計上予定
- **流通総額の計画対比進捗率は80.4%**

連結流通総額の推移

➤ 過去最高を更新。全部門が前年同四半期で伸張。

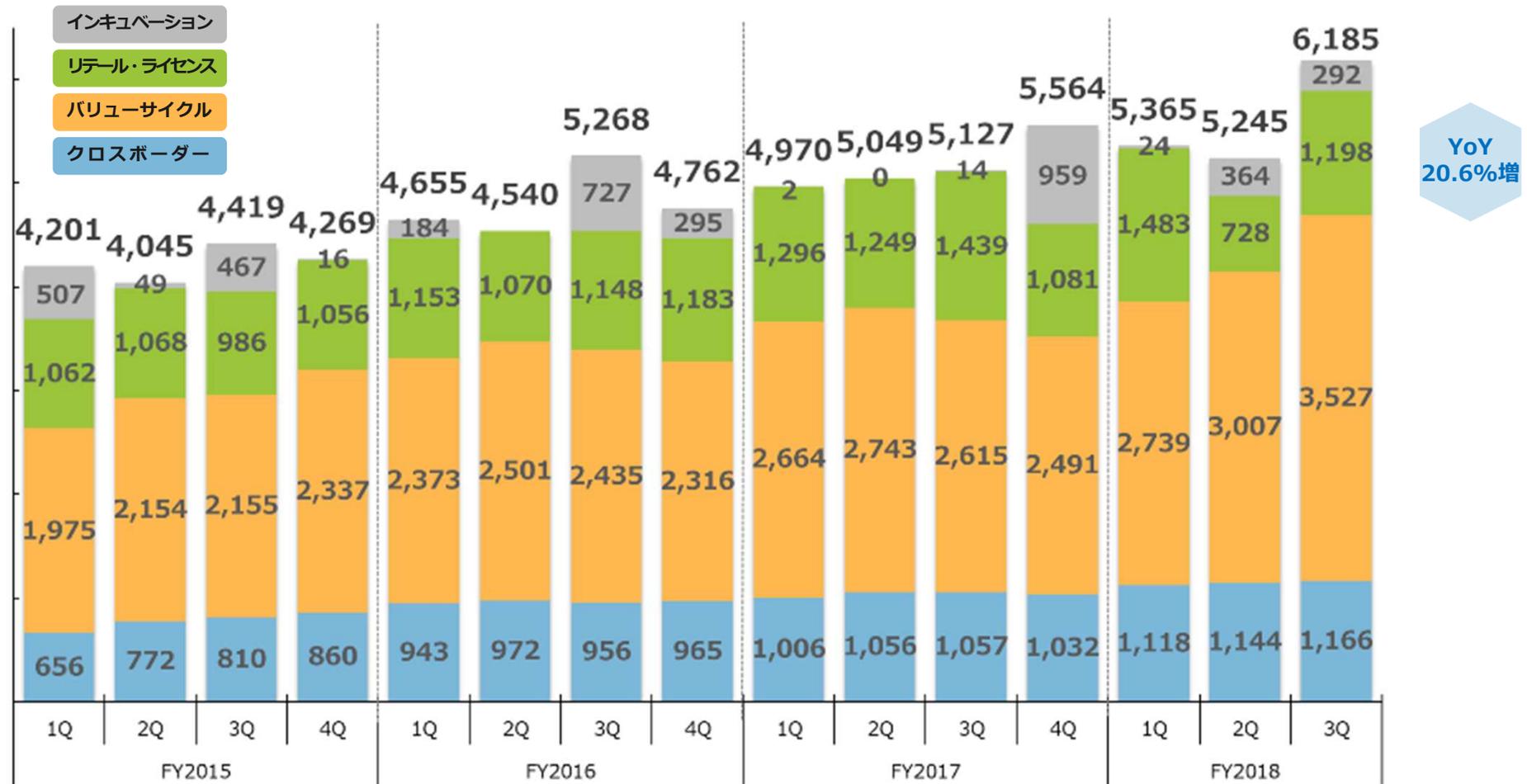
(単位：百万円)



- ※1 流通総額はグループ各社の商品等の流通額を合算した金額です。商品代金を売上高に計上している事業については「売上高」を流通額として、手数料のみを売上高に計上している事業については、「商品代金・送料・手数料・消費税」を流通額として取扱い、合算した金額を流通総額としております。2017年3Qまでインターネット経由の商品流通のみを対象として計算し開示しておりましたが、卸売上やインターネット以外のチャネルでの流通額の重要性が高まったため過去に遡及してリテール・ライセンス部門の流通総額を修正しております。
- ※2 インキュベーション事業には投資育成事業以外の収益化される前の新規事業の売上がありますが、金額が小さいためグラフ上表示されておられません。
- ※3 2017年12月から株式会社ネットプライスが連結から除外されております。(2017年11月まではリテール・ライセンス部門に含まれています。)
- ※4 2018年4月から株式会社帝国酒販が連結対象となっております。(バリューサイクル部門に含まれています。)

連結売上高の推移

- 過去最高売上高更新。バリューサイクル部門に酒類買取販売事業を追加。リテール・ライセンス部門は前Qはネットプライスの連結除外とエンターテインメント事業の季節性による減少があったが復調。(単位：百万円)

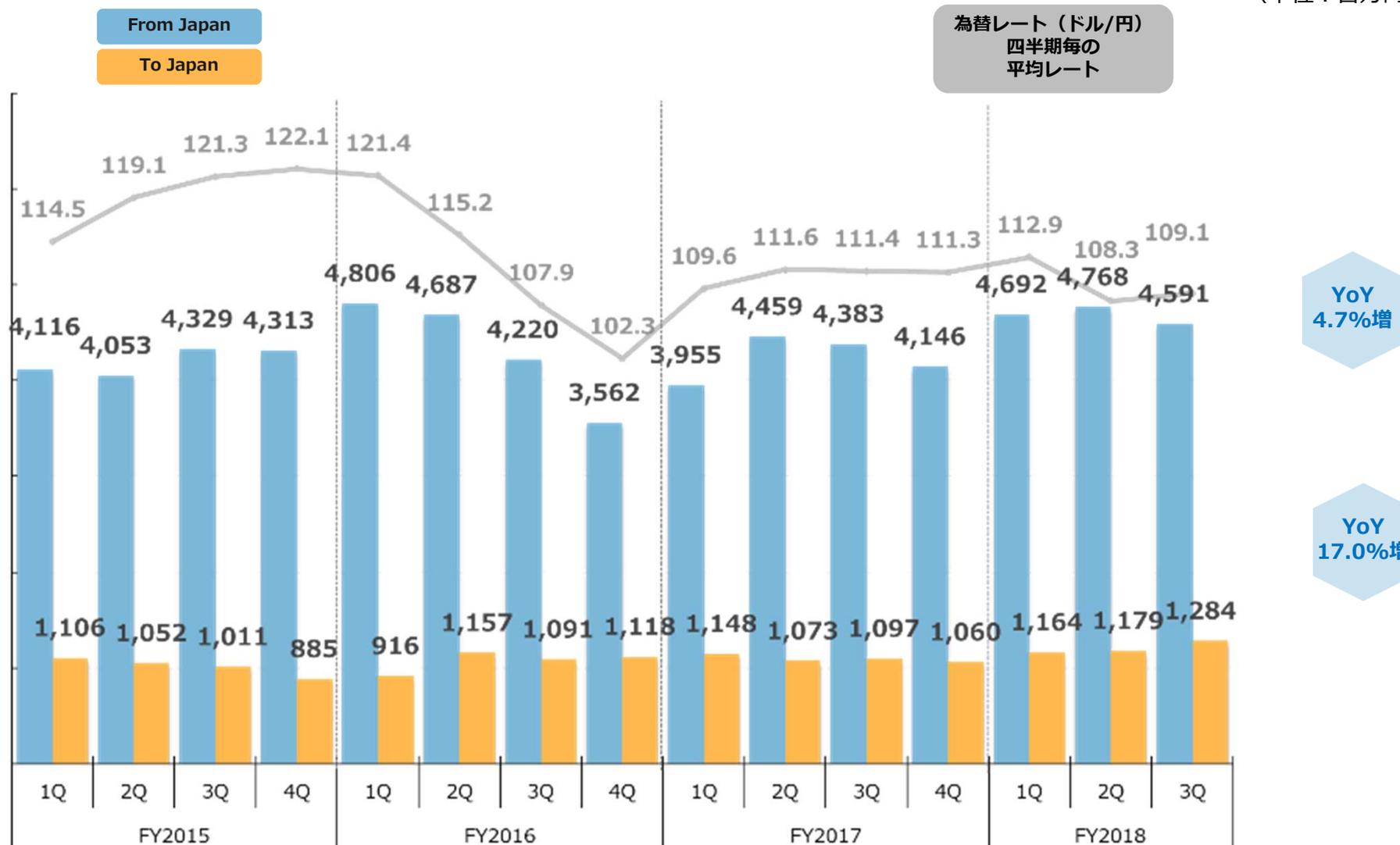


※インキュベーション事業において為替換算による売上高マイナス計上がFY2016/2Qに4百万円含まれております。

クロスボーダー部門の流通総額の推移

- From Japan、To Japanともに前年同期比で伸張。特にTo Japanは新規入札者の増加で好調に推移。

(単位：百万円)

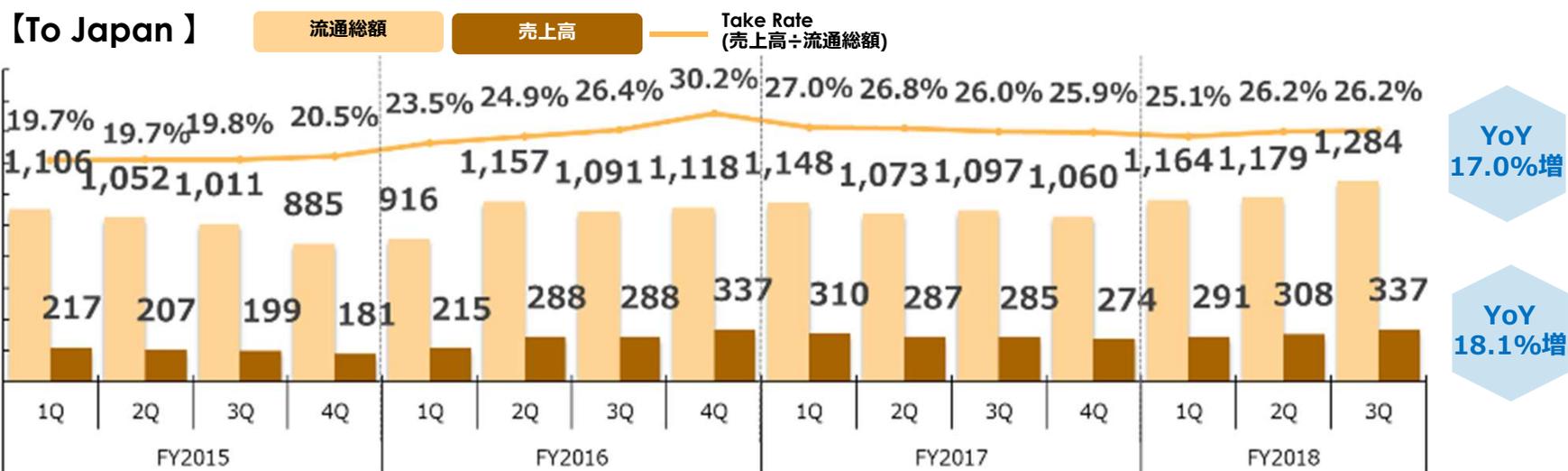
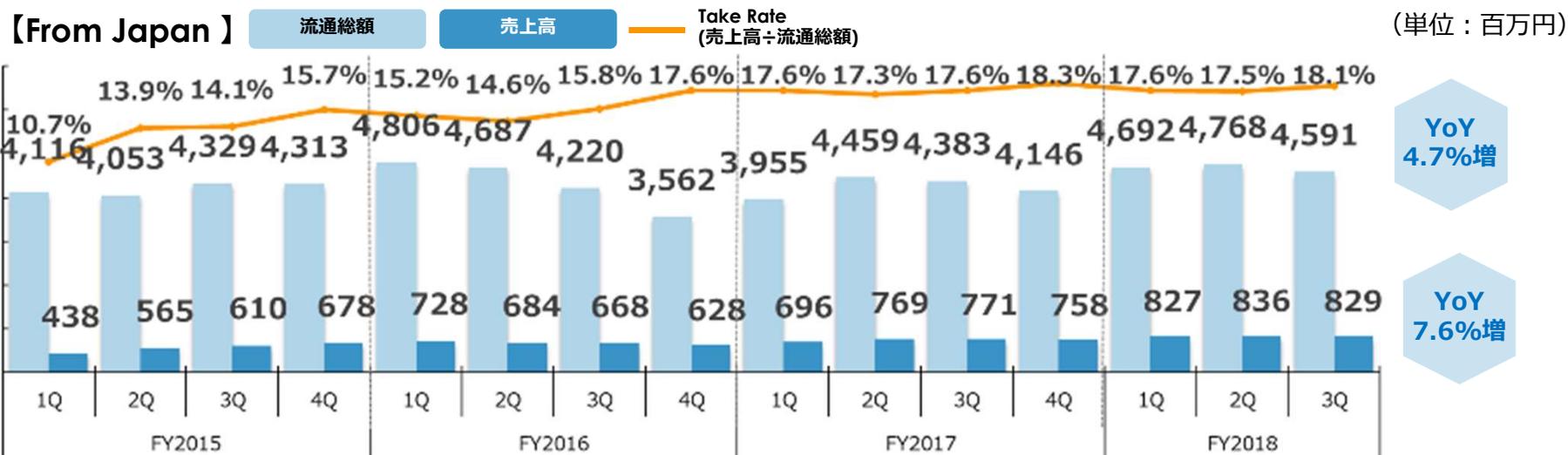


YoY
4.7%増

YoY
17.0%増

流通総額、売上高及びTake Rateの推移

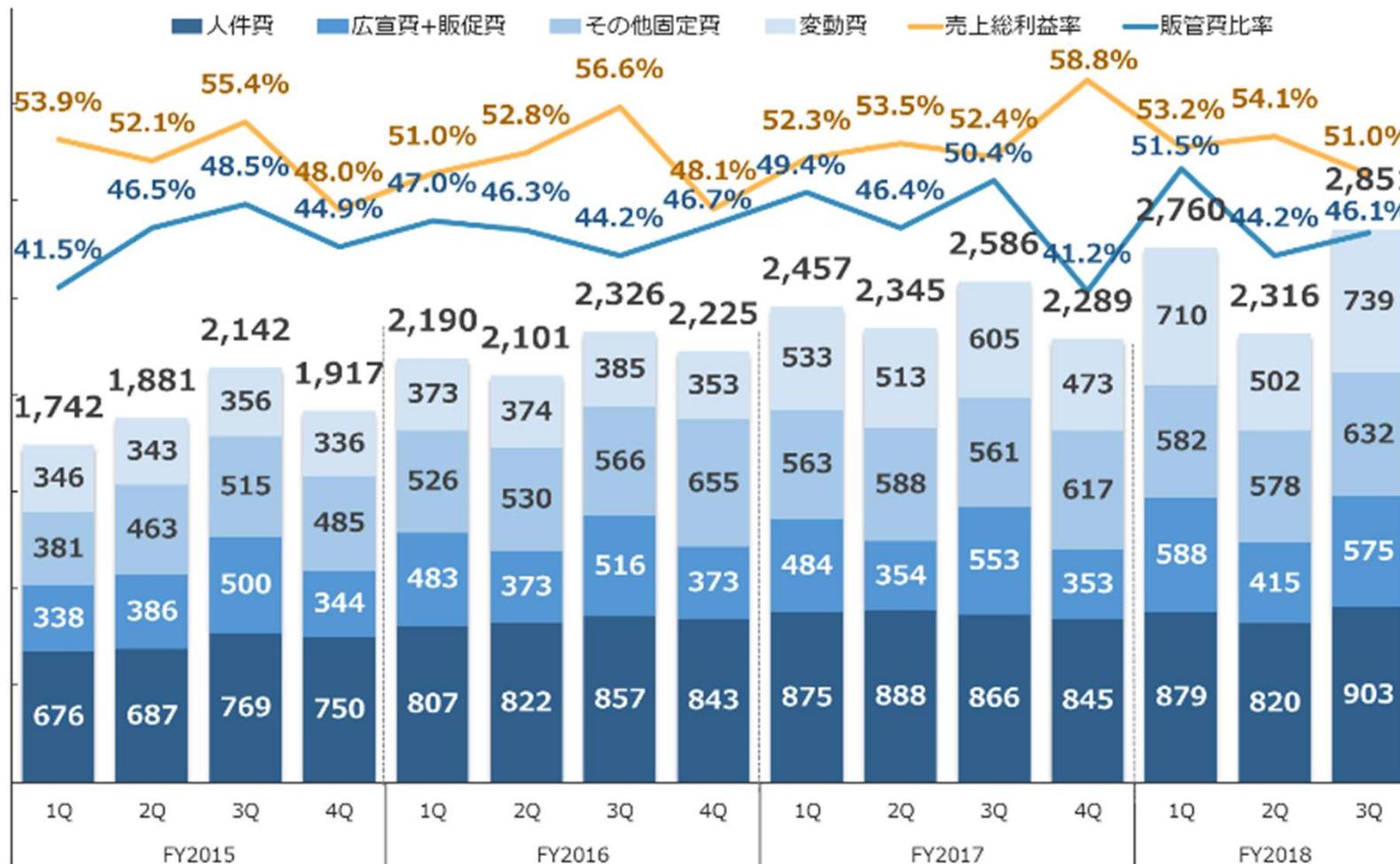
➤ From Japan、To Japanともに前年同期比で伸張。



連結売上総利益率と販管費の推移

➤ 3Qはバリューサイクル部門の広告宣伝強化期間。

(単位：百万円)



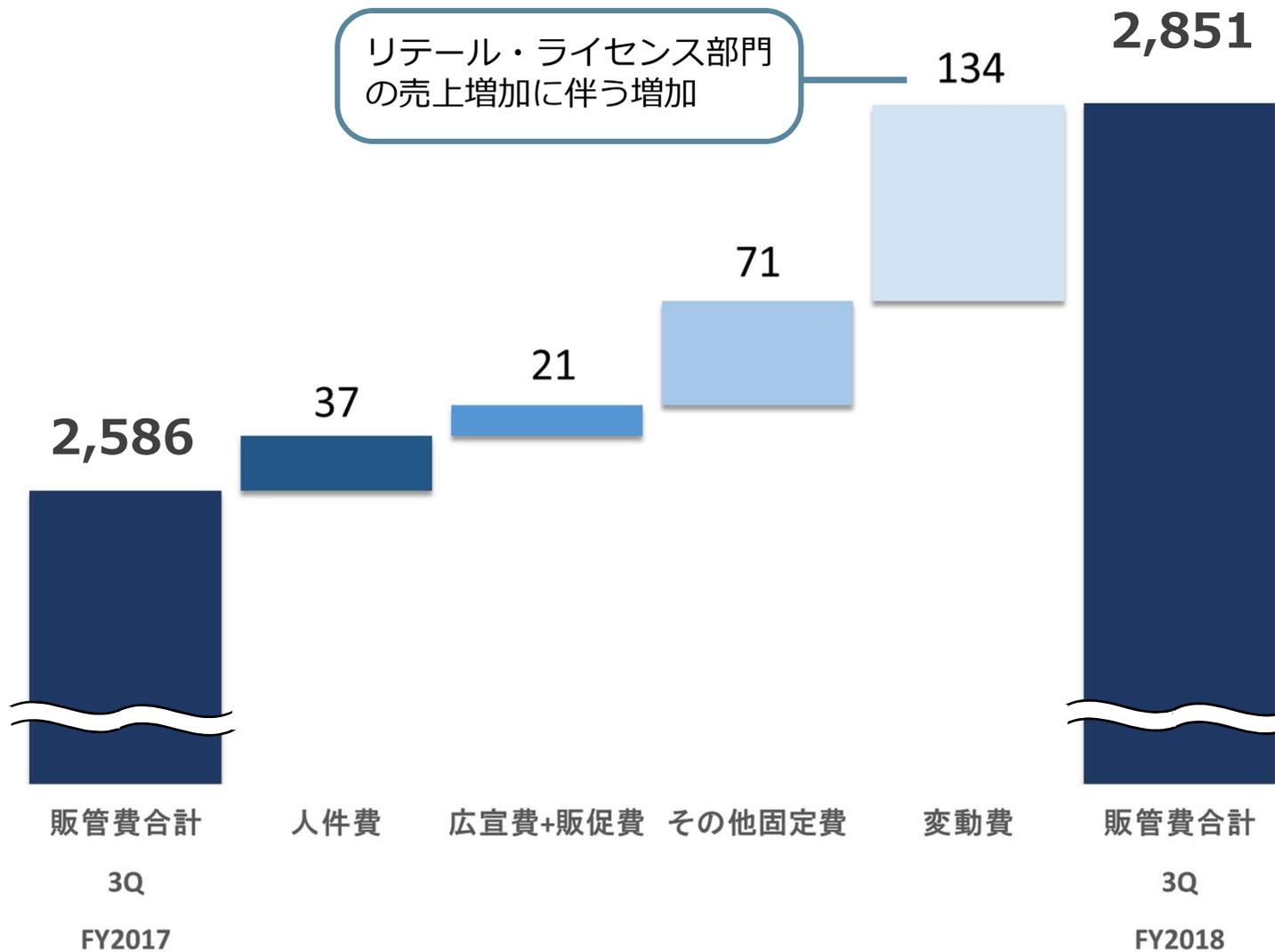
YoY
10.2%増

※四半期ベースでは、賞与は人件費ではなくその他固定費に含めております。

※FY2017よりリテール・ライセンス事業のその他固定費のうち売上連動性の高い費用を変動費に変更いたしました。

第3四半期販管費の増減要因（前年同四半期比）

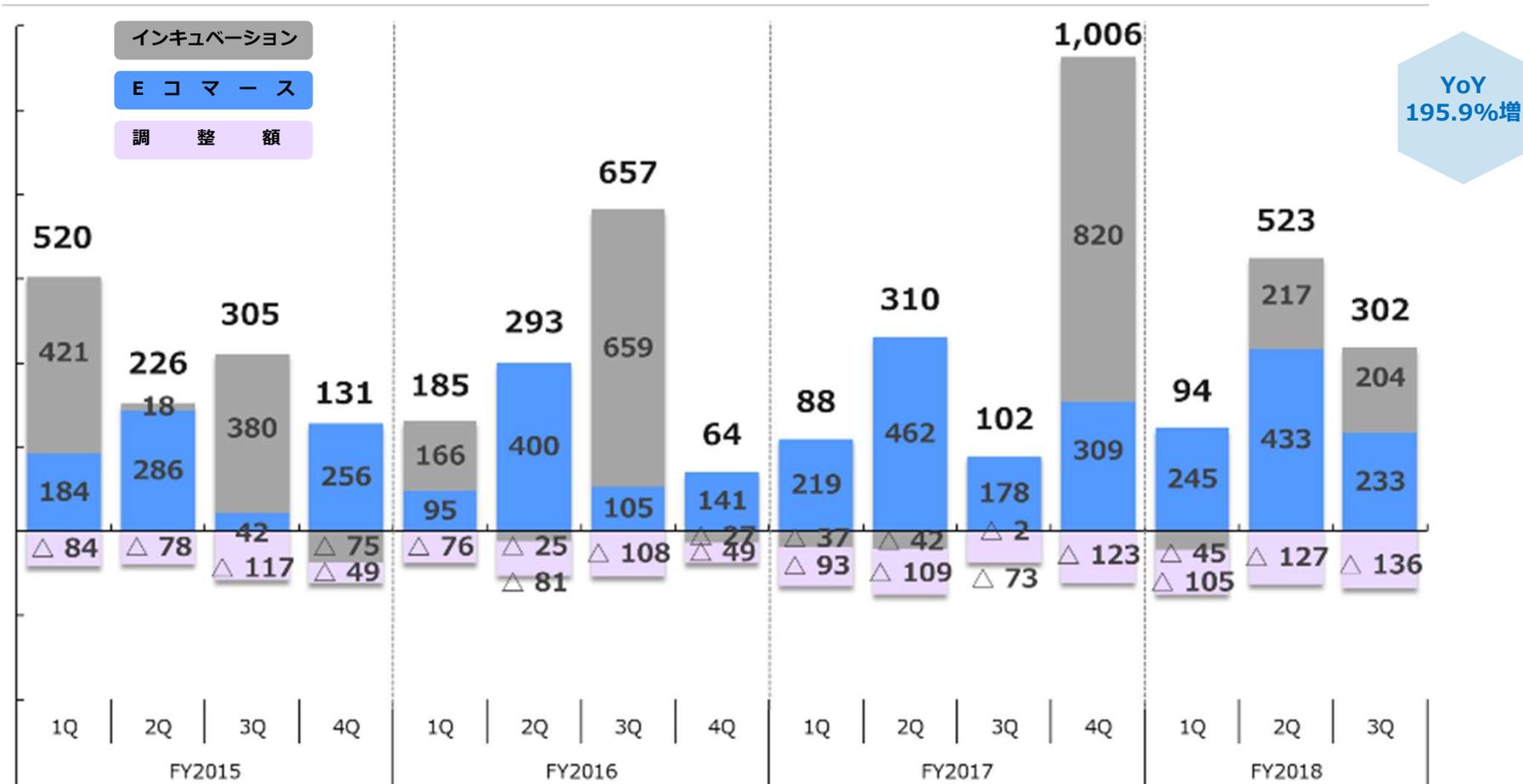
（単位：百万円）



連結営業利益の推移

- 3Qはバリューサイクル部門の広告宣伝強化期間のため例年利益を出しにくい
Eコマース、インキュベーション両事業ともに堅調。

(単位：百万円)



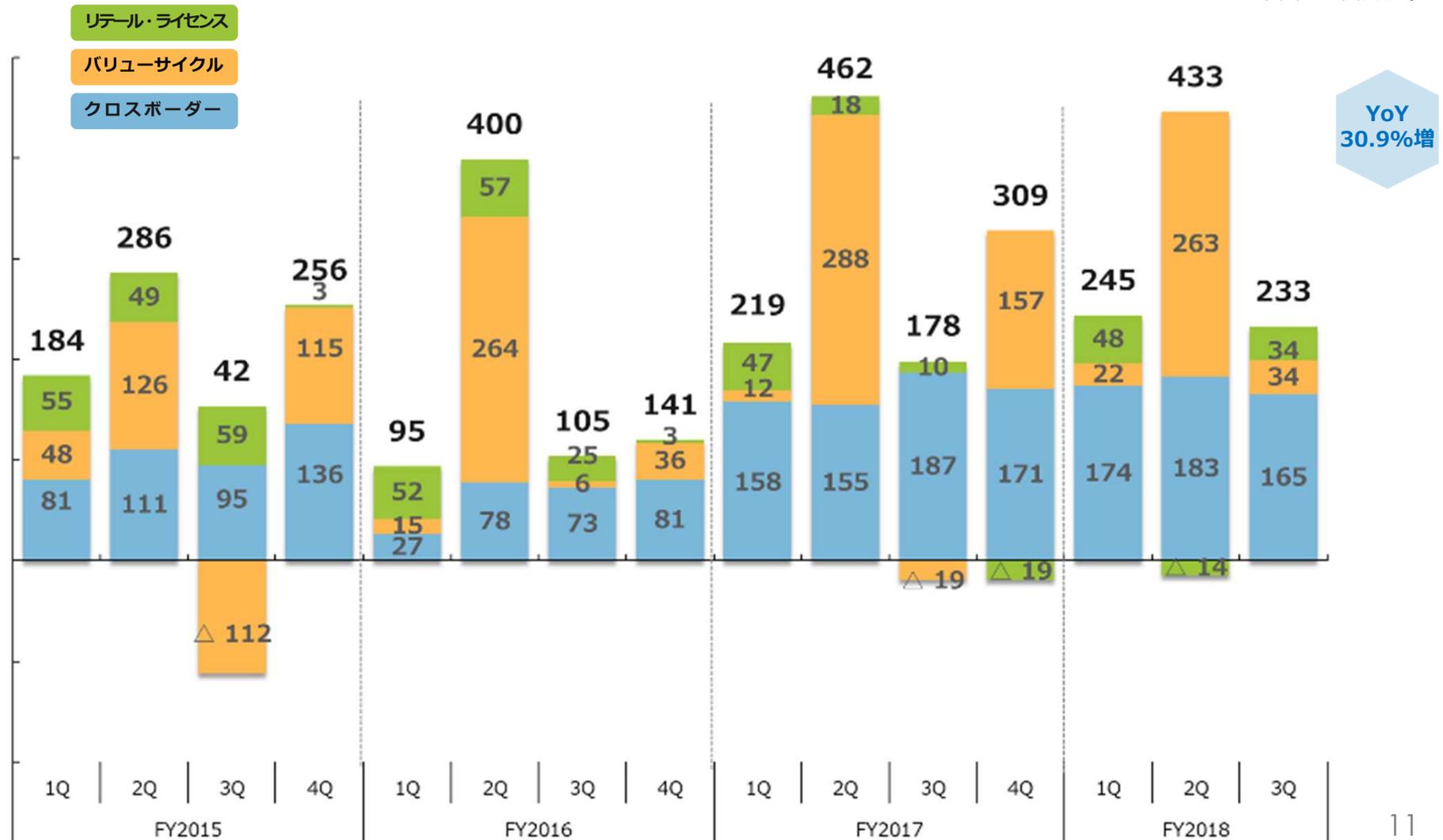
YoY
195.9%増

※調整額にはセグメント間取引の消去、各報告セグメントに分配していない全社収益及び全社費用が含まれております。
 全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。
 全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

営業利益の推移（Eコマース事業の内訳）

- 全部門で黒字。バリューサイクル部門に酒類買取販売事業加わるがのれん償却と相殺により損益への影響は軽微。

（単位：百万円）



連結：資産・負債の概況

単位：百万円	3Q/FY2018 6月末	2Q/FY2018 3月末	前四半期末比
流動資産	13,473	12,916	556
現預金	5,362	5,877	△514
売掛金	1,321	818	502
営業投資有価証券	2,994	2,642	352
商品	1,642	1,573	68
固定資産	2,195	2,197	△2
有形固定資産	385	334	50
無形固定資産	573	591	△18
投資等	1,236	1,271	△34
流動負債	5,966	5,533	432
買掛金	427	475	△47
短期借入金	1,626	1,421	204
固定負債	215	332	△116
純資産	9,486	9,247	238
総資産	15,668	15,114	554

- ・投資による増加：309百万円
- ・売却による減少：0百万円
- ・引当・評価損：△23百万円
- ・為替変動：67百万円

※ 主要な科目のみ表示しております。



2 事業別トピック・戦略

代表取締役社長 兼 グループCEO
直井 聖太

セグメント別ハイライト (3Q)

※白文字...前3Q比

クロスボーダー

売上高
過去最高

流通総額

58億円
+7.2%

売上高

11億円
+10.3%

営業利益

1.6億円
△11.8%

tenso  SAL shop airlines

バリューサイクル

売上高
過去最高

3Qより酒類の買取販売事業
計上

DEFACTO STANDARD  株式会社帝國酒販

リテール・ライセンス

商品プロデュース・ライセンス事業
単体では
売上高過去最高

2Qよりネットプライス連結対象外

24億円
+0.2%

11億円
△16.8%

0.3億円
3.3倍

monosense SWATi

インキュベーション

売却益計上

国内外の未上場有価証券の
売却

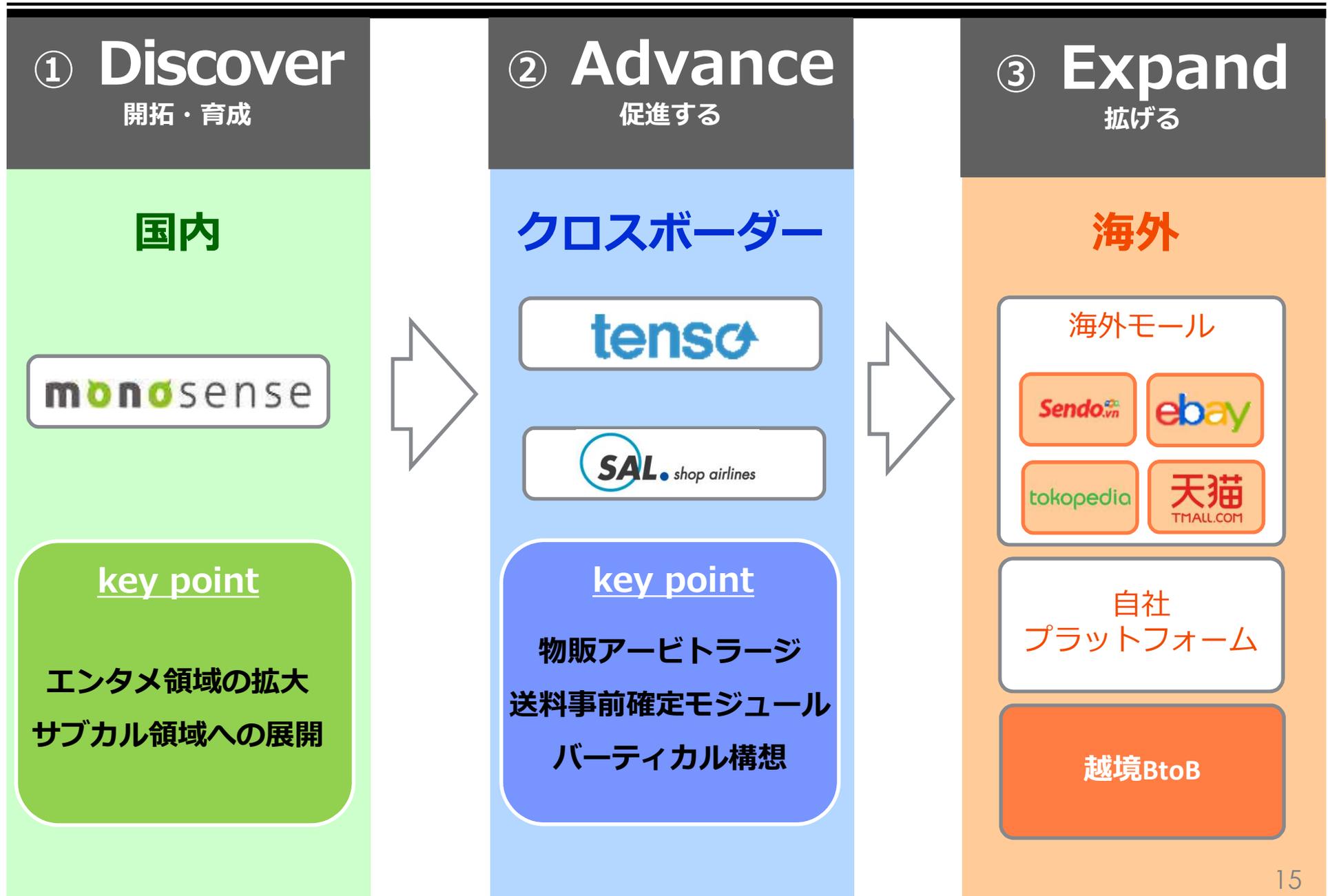
0億円
—

2.9億円
20.1倍

2.0億円
—

※当事業の流通総額は新規事業
による商品等の流通額です

当社のグローバルプラットフォーム構想図



日本と世界を繋ぐ グローバルプラットフォーマーを目指す



グローバル領域において新しい市場を創造するためにプラットフォームを生み出し続ける
「グローバルプラットフォーマー」を目指します

創業10周年



2008年からこれまでの10年間の実績

会員数

150万人

以上

流通総額

800億円

以上

連携ECサイト

1,850

以上

発送データ

500万件

以上

会員エリア

118

の国・地域

ユーザビリティを徹底的に追及



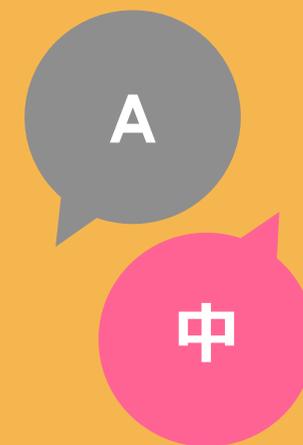
アプリの提供開始
(アンドロイド版)



Facebookログイン
機能追加



チャットでの
お問合せ対応開始



独自の翻訳検索
機能追加

サービス開始より10年となる 「セカイモン」のシステムをリプレイス

生産性の向上



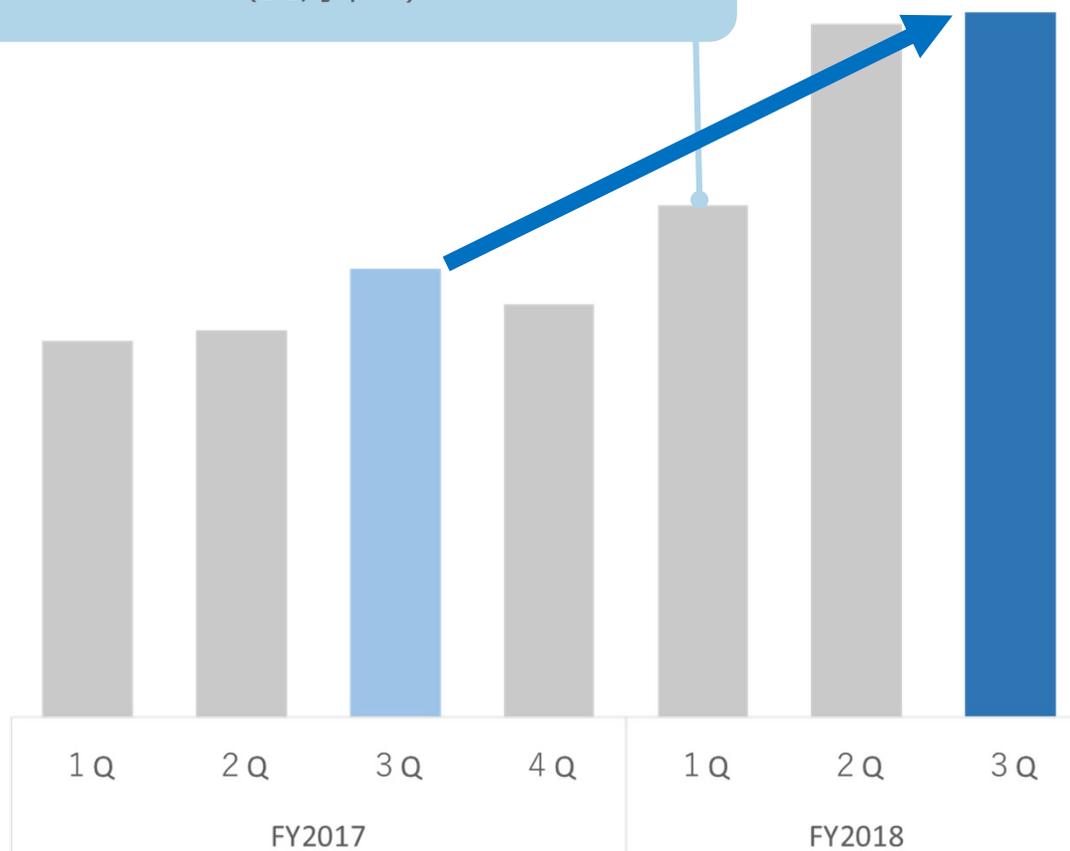
維持コストの低減



新規入札者数の推移イメージ



国際送料事前確定モジュール導入
(11月末～)



前年同期比

57%増

新商品・施策実績

monosense

アニメ「進撃の巨人」と
ドン・キホーテ様とのコラボ商品



「ポケットモンスター」と
コスメブランドとのコラボ商品



商品企画

販路
ネットワーク

クレイアニメ「ひつじのショーン」と
東急ハンズ様とのコラボ商品・イベント



トレンド調査に基づいた商品企画・
プロモーション



プロモーション
戦略立案

EC開発・運用、商品企画実績

monosense

「アナザーエデン Official Shop」を展開

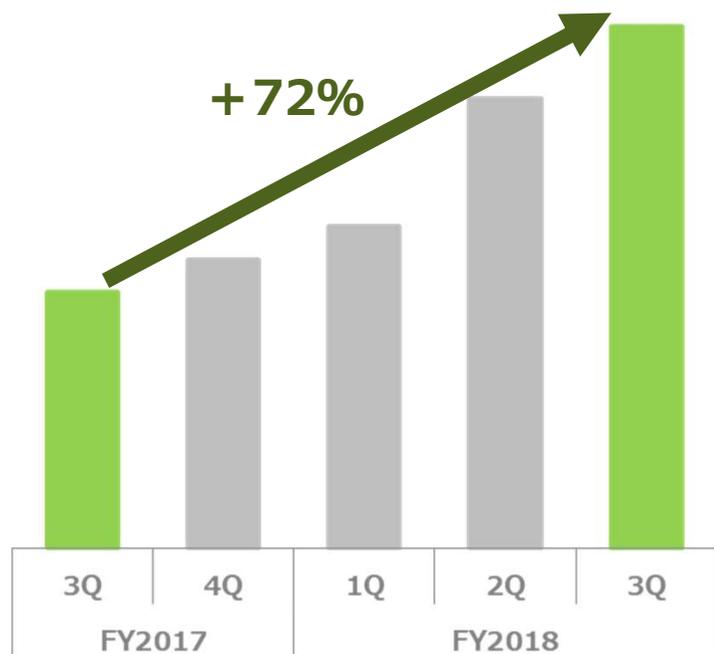
グリー株式会社が提供する、ダウンロード数500万以上のスマートフォン向けRPG『アナザーエデン 時空を超える猫』のオリジナルグッズを販売する公式ECサイトの運営や商品開発などを担う



自社販路拡大

自社販路「ブランディアオークション」の拡大施策を行い、ブランディアオークションの売上高は前3Q比**+72%**。

【ブランディアオークションの売上高推移】



自社販路比率の更なる拡大を狙い ECアプリをリリース



ブランディアオークションとのちがい

- ◆ ネイティブアプリによるスマホ特化の操作性向上
- ◆ プッシュ通知により値下げ情報をリアルタイムで取得



定額で即時購入可能

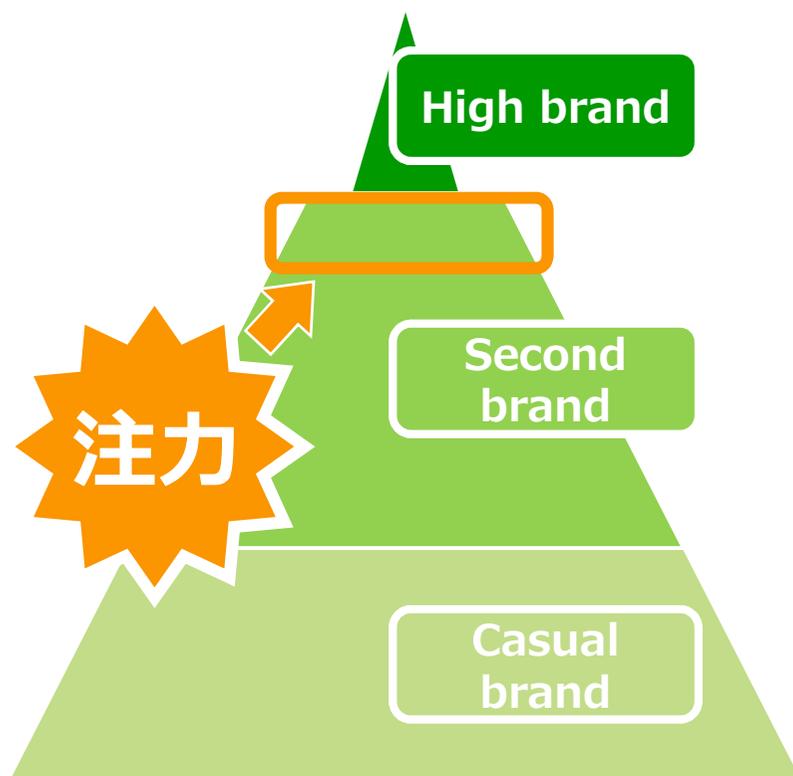


2回目以降の登録不要

買取個数は若干減少するも、単価大幅アップで買取金額増

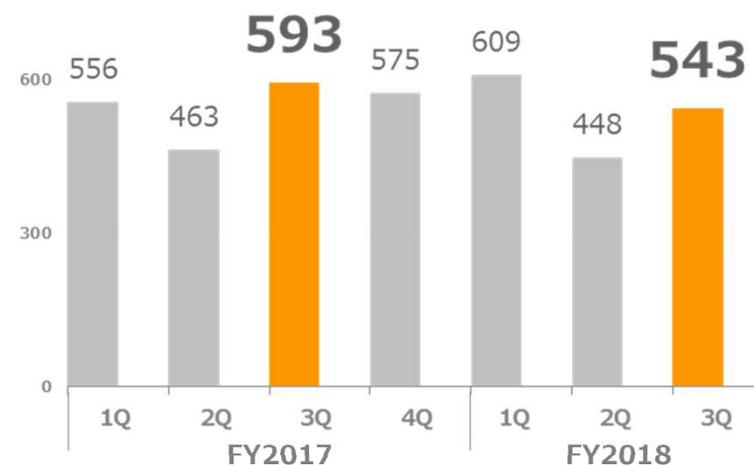
- ◆“セカンドブランド※”の中でも比較的高単価の買い取りが増え、買取単価が**37%上昇**
- ◆3Q買取商品数は**8%減少**するも単価上昇により、前3Q会計期間比**26%増**の買取金額（仕入高）を達成（3Q累計期間比では21%増）

※セカンドブランド＝中古品としての平均販売単価が1千円以上、1万円未満の商品（デファクトスタンダード社定義）



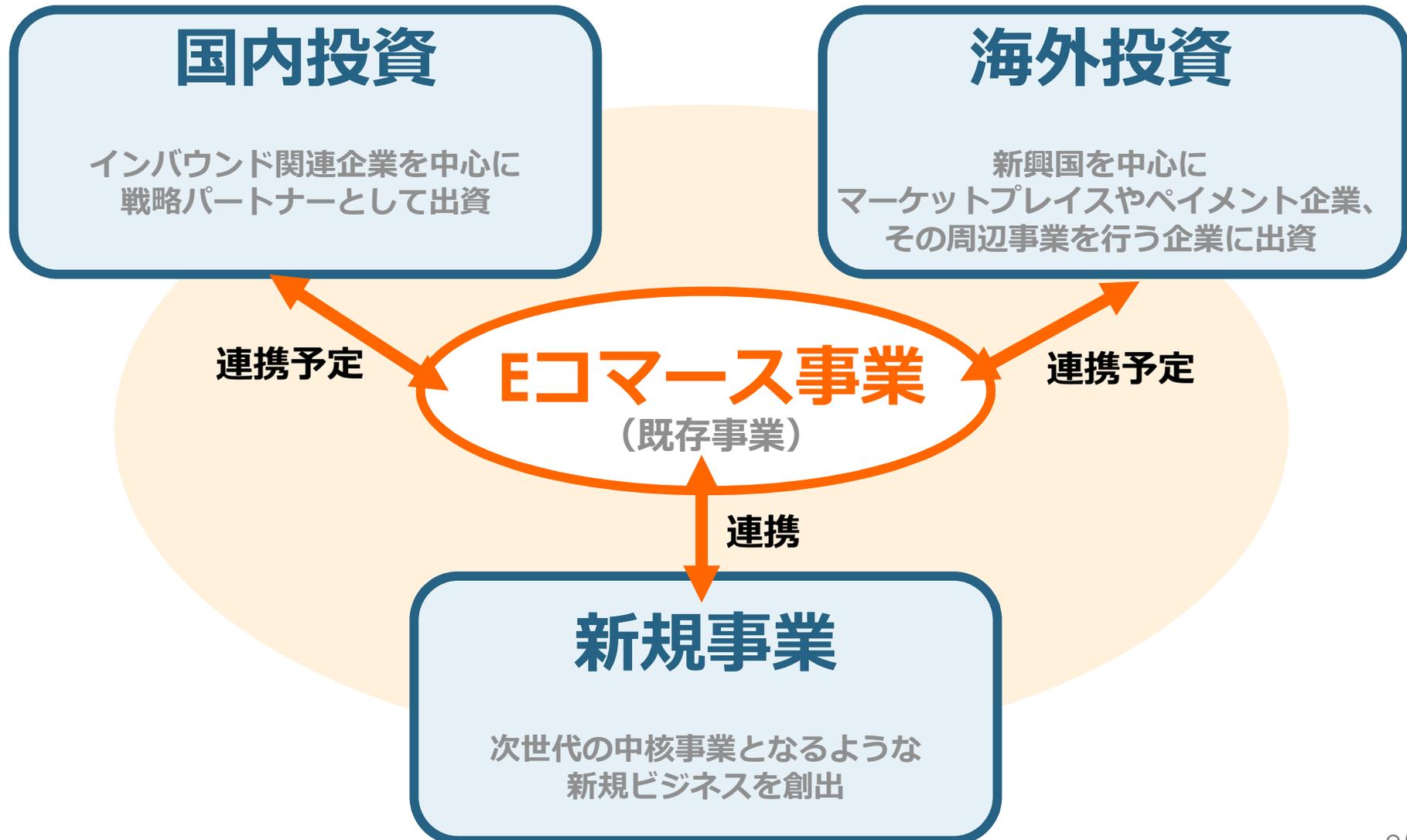
【四半期ごとの買取商品数推移】

(単位：千商品)



$$\times \text{単価} + 37\% = \text{買取} + 26\%$$

インキュベーション事業とEコマース事業のシナジー



ナチュラルカートを運営するcart社への出資を合意 (2018年7月発表)

4Qに出資予定。BEENOSの出資比率は1%未満見込み。

ナチュラルカート：ナチュラル&オーガニック商品のマーケットプレイスで
オーガニック商材の出品数は日本最大規模



【出資の理由】

- ◆オーガニック市場規模拡大に伴うcart社事業の成長を有望視
- ◆BEENOSグループとの事業連携によって新たな価値創造に貢献することを期待

4Q：インキュベーション事業

売上高5.1 億円、営業利益4.6 億円を計上予定

- (1) 売却年月日：2018年7月
- (2) 売却株式：dely株式会社
- (3) 譲渡先：ヤフー株式会社
- (4) 売却額：5.1億円
- (5) 売却益：4.6億円

BEENOSは、2014年7月、delyのシードでリードインベスターとして出資。

評価とタイミングを考慮した上でこのタイミングが最適と判断し、今回売却。
delyにとってはヤフーの子会社となることで成長が促進されると期待。

主にネクストチャイナである新興国の マーケットプレイスやペイメント企業などに投資





2018年5月発表

シリーズDラウンドで豊田通商などから資金調達を発表 豊田通商と東南アジア展開強化のための基本合意も

BEENOSの出資比率は5～10%内

インドのオンライン自動車販売市場における
シェア70%を誇り、年間の流通総額は
7億米ドル（約770億円）ペース

- ◆ 資金調達を経て今後の計画
 - ・ 圧倒的な国内市場シェアの確立を図る
 - ・ 東南アジアへの展開
 - ・ AI・機械学習技術開発への注力と投資を積極的に行い更なる事業規模の拡大を狙う

流通総額の推移イメージ



流通総額 前年Q比**12.4%増**

ECコマース事業の営業利益が
前年Q比**30.9%増**

営業投資有価証券の売却による売上**2.9億円**を計上
(dely譲渡分は4Qに計上のため上記数値に含まず)

流通総額の計画対比進捗率は**80.4%**

3

參考資料



インキュベーション事業の概況

今後成長が見込まれる中国以外のアジア新興国への投資を継続

中国の次の市場
(ネクストチャイナ) が
主な対象市場



インド



インドネシア

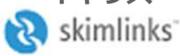


その他

	B 2 C オンラインマーケットプレイス	2013年1月出資
	自動車売買オンラインマーケットプレイス	2014年7月出資
	オンラインストアソリューション	2014年10月出資
	価格比較サービス	2015年4月出資
	モバイルファッションマーケットプレイス	2015年12月出資
	オンラインC2C不動産マーケットプレイス	2016年2月出資
	在宅健康診断マーケットプレイス	2016年8月出資
	間接資材マーケットプレイス	2016年12月出資
<hr/>		
	C 2 C オンラインマーケットプレイス	2012年4月出資
	モバイルオンデマンドプラットフォーム	2018年3月出資
	B 2 B マーケットプレイス	2016年6月出資
<hr/>		
	価格比較サービス (トルコ)	2013年5月出資
	オンライン決済サービス (トルコ)	2013年6月出資
	オンラインマーケットプレイス (ベトナム)	2014年12月出資
	オンライン決済サービス (フィリピン)	2015年1月出資
	オンライン送金サービス (フィリピン)	2014年7月出資
	モバイルマネー (アフリカ諸国)	2014年1月出資
	ファッションマーケットプレイス (タイ)	2016年8月出資
	モバイル決済サービス (バングラデシュ)	2017年6月出資

インキュベーション事業：主な投資先のポートフォリオ一覧 ENOS

2018年6月末時点

出資地域 出資比率	新興国		その他		
	インド	その他	アメリカ	日本	その他
10% 以上		トルコ 	フィリピン 		metro engines
5~10%	 	ベトナム 	アフリカ諸国 		 
1~5%	   	インドネシア   トルコ  タイ 	バングラデシュ  フィリピン 	FOND.	 (4Qに譲渡)    
1% 未満	 	インドネシア 		Storefront   	イギリス 

グループ各社の事業概要

連結子会社



tenso

海外居住者向けに、日本の商品を海外発送代行する「転送コム」と日本語が読めないユーザー向けに代理購入サービス「Buyee」を運営



ショップエアライン

世界最大のオークションサイトeBayとの提携により、世界中の商品を日本にいながら購入できる「セカイモン」を運営



デファクトスタンダード

ブランド、アパレル、アクセサリなどをお客様からネットを通じて買取り、メンテナンス後ネットオークション等のチャネルを通じてセカンドリー販売する「ブランディア」を運営



帝国酒販

国内8店舗の酒類買取専門店「JOY LAB(ジョイラボ)」を運営し、買取った酒類を自社ECサイト「銘酒専門店 帝国酒販」や国内大手ECモールで販売。



モノセンス

タレントのライセンスを用いた「商品企画」「商品プロモーション」「販路・流通の拡大」をサポートするサービスを提供。アーティストグッズの販売サイトも展開

連結子会社



SWATi

『cuteなオヴジェ』、『POPな遊び心』、『ありそうでないもの』をコンセプトとし、ハンドメイドキャンドルをメインとしたインテリア雑貨ブランド



BeeCruise

BEENOSグループの「経験値」「ネットワーク」「データの蓄積」といった3つの強みとIT技術を駆使し、既存事業の成長の加速化と新規事業の開発を行う。



BEENOS Asia

新興国市場への投資及び統括の拠点とするシンガポール現地法人



BEENOS Partners

米国のスタートアップ企業に対する投資事業を展開



BEENOS Plaza

インドネシアのスタートアップ企業に投資を行う現地法人。インドネシアで間接資材マーケットプレス事業を展開する「Ralali」などに出資



Open Network Lab

オープンネットワークラボ

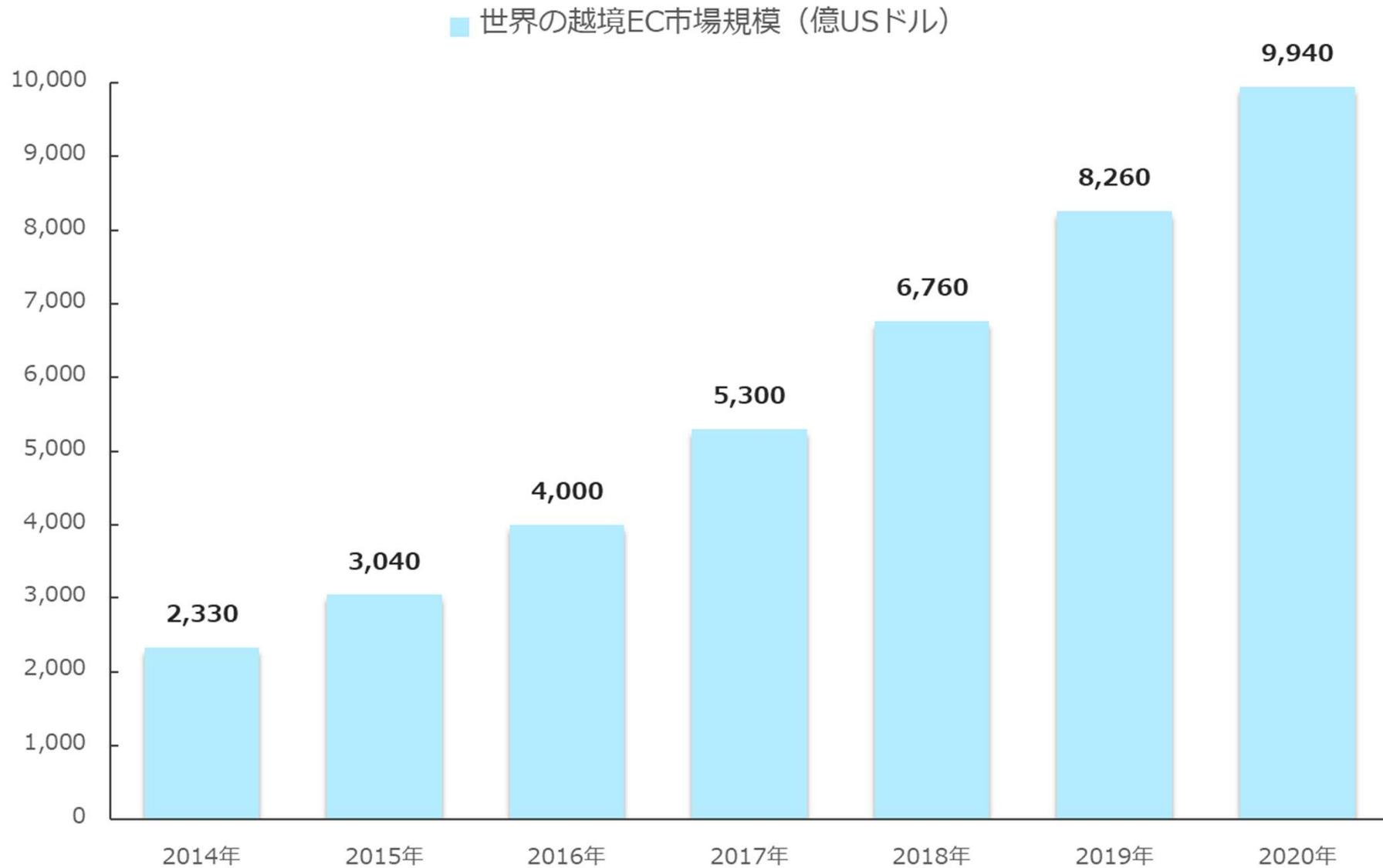
世界進出を視野に入れグローバルに活躍することを目標にインターネットを利用したビジネスでの起業を志すエンジニアや起業家を育成・支援

持分法適用会社

市場データ

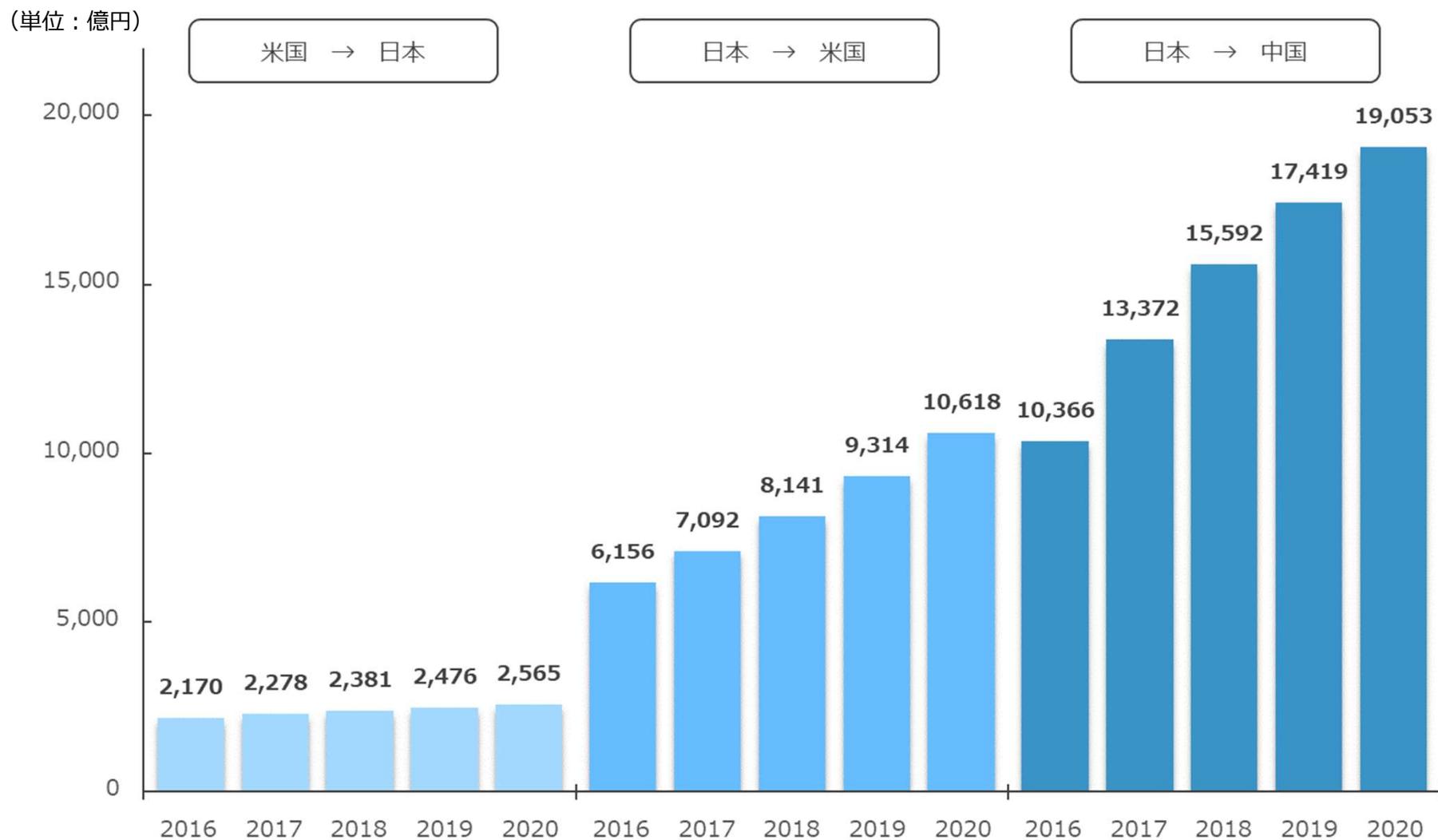


世界（日本、アメリカ、中国）の越境EC市場規模



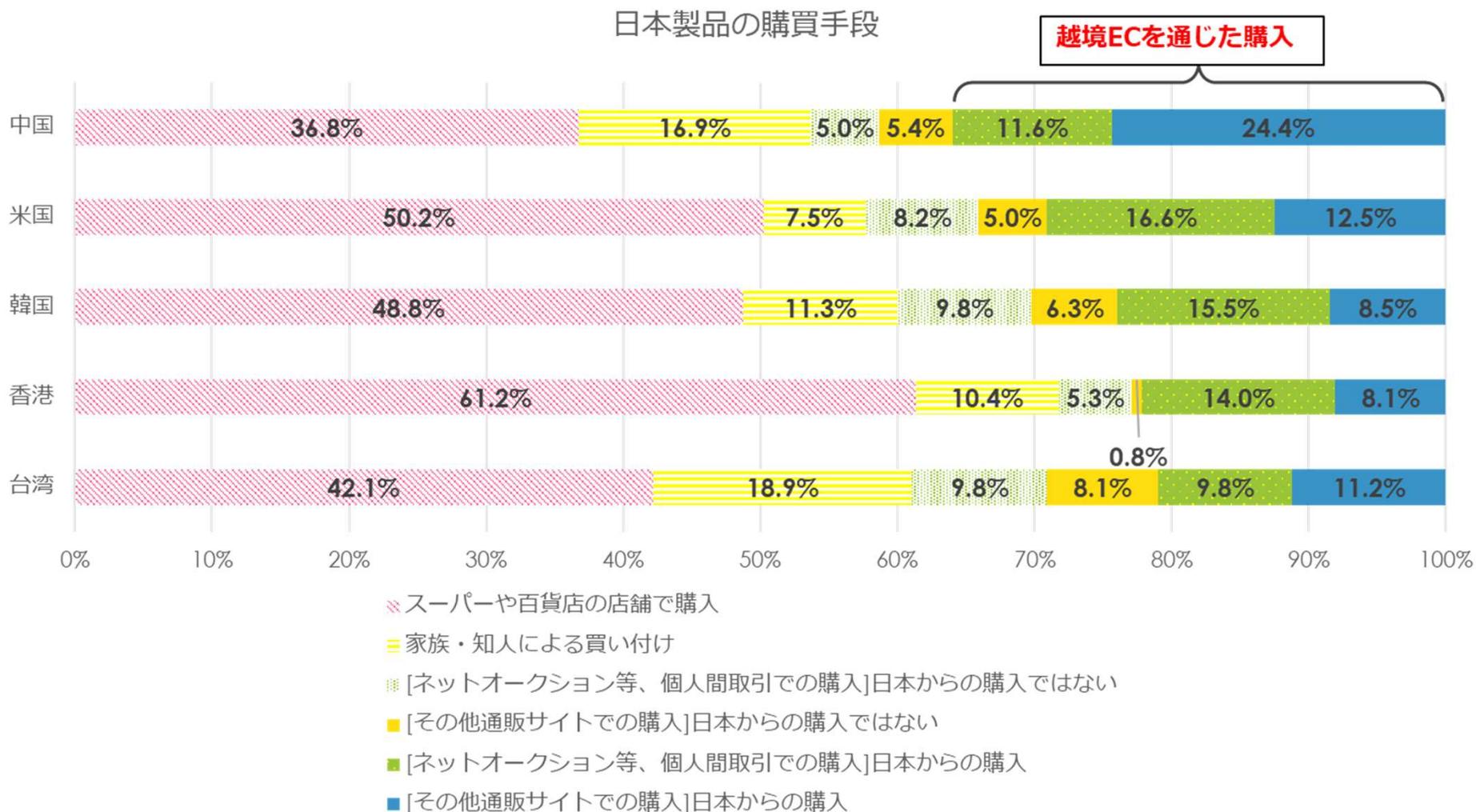
出所：Alizila, Jan2017

主要国間の越境EC市場規模



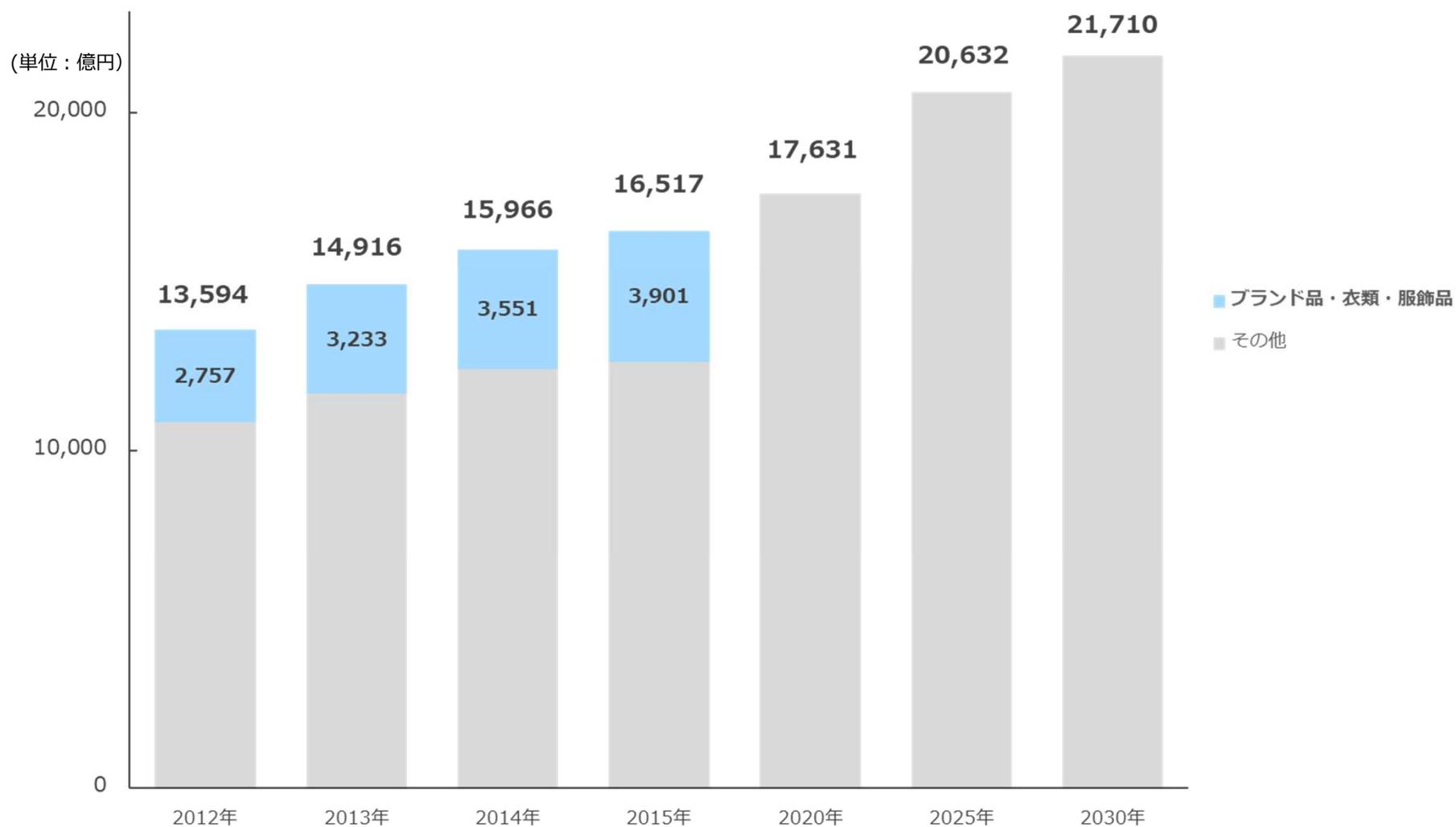
出所：経済産業省による各種調査機関、文献および越境ECを行っているEC事業者のヒアリングより作成

訪日外国人旅行者の増加がもたらす影響



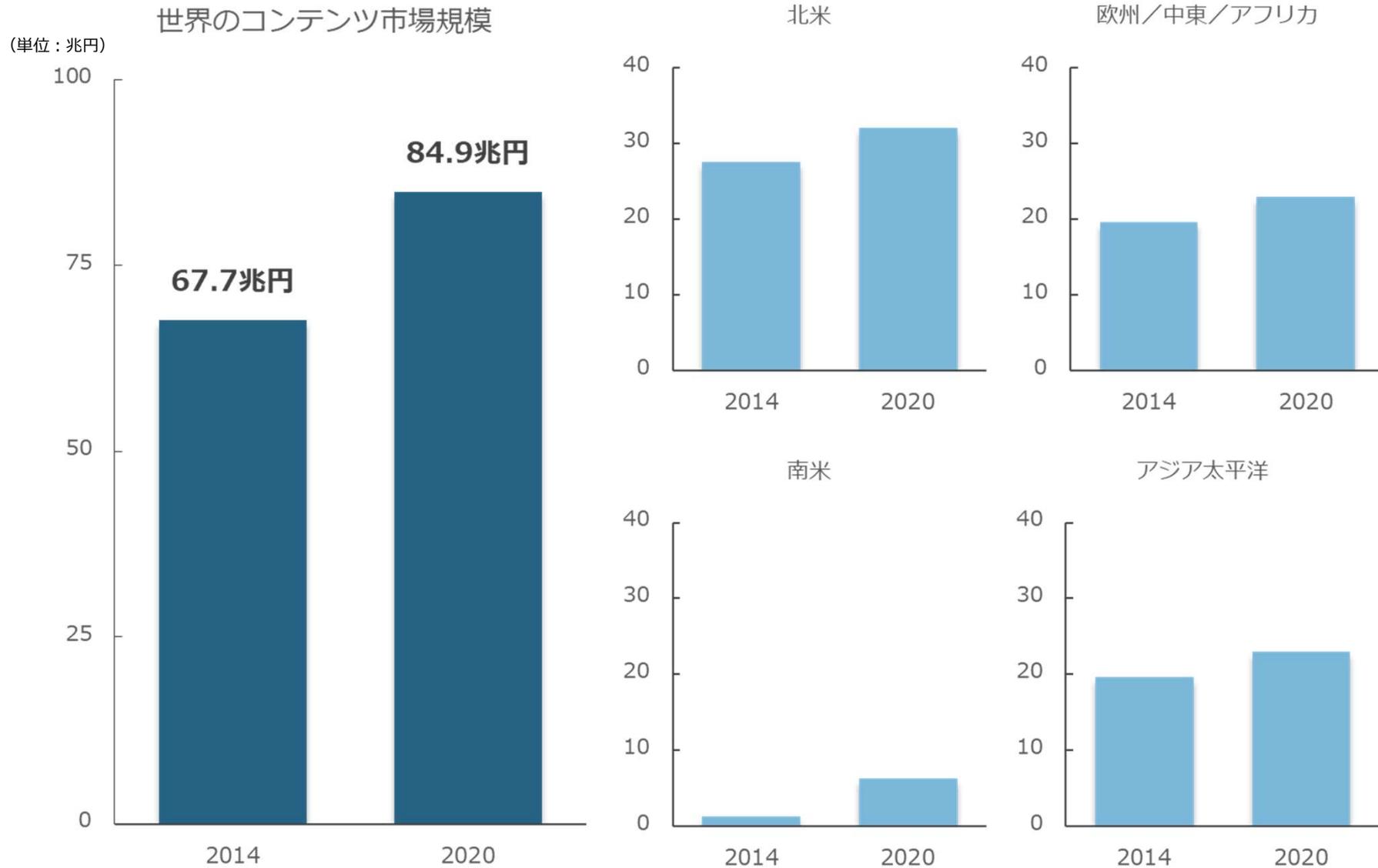
出所：アンケート調査に基づき観光庁作成

リユース市場の市場規模



出所：（株）リフォーム産業新聞社『リサイクル通信 中古市場データブック2017』推計を基に当社集計

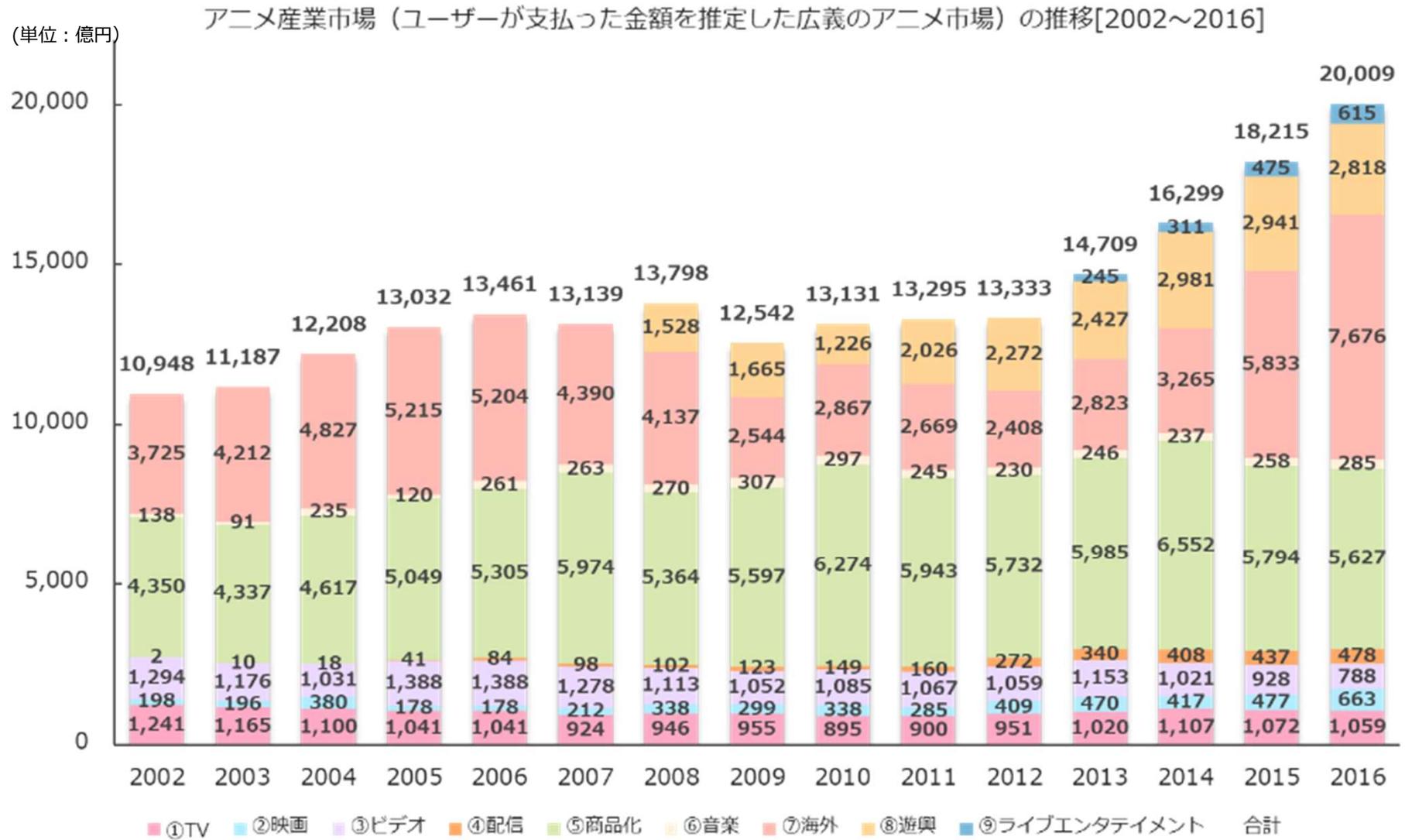
海外コンテンツ産業の市場規模



出所：RolandBerger調査（2016）

1ドル=113円で換算

➤ 日本のアニメ市場の推移



出所：日本動画協会実施アンケートや各種統計発表などから算出